

くろかわ地育リーダーズ ～ふるさと黒川を「心の根」に持つ、地域の将来を担う人材育成～



| 学校 | 学校運営協議会 | 地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数) | 地域学校協働本部 |
|---------------|-----------------------------|---------------------------------------|-----------------|
| 白川町立 黒川中学校 | 黒川地区学校運営協議会 平成29年4月1日 設置 | 地域学校協働活動推進員 6名 5名 地域コーディネーター 0名 0名 | くろかわ地育 リーダーズ |
| 白川町立 黒川小学校 | 黒川地区学校運営協議会 平成29年4月1日 設置 | 地域学校協働活動推進員 6名 5名 地域コーディネーター 0名 0名 | くろかわ地育 リーダーズ |



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

黒川地区の学校は中山間地の小規模校で、子どもの人数は減少傾向である。町の学校再編問題をきっかけに地域の将来を担う人材育成が重要課題と認識した。地元で活躍するだけでなく、遠く離れてもふるさとに思いを寄せる人材を育成するために何ができるのか、子どもたちが自己実現に向けて力強く歩むためにどんなことが必要か熟議を重ねた。その結果、地域の有形・無形の財産が子どもたちに有効に働き、将来に生きて働く原動力になると認識を共有し、目指す姿を設定した。

目標や目指す姿(学校)

ふるさと黒川を心の奥底にまで根を張らせ、地域に貢献してくれる人づくりと学校運営上での困りごとの解消

目標や目指す姿(地域)

子どもの将来を担う共通の目標をもってかかわることで絆を一層強めた地域づくりと生涯にわたり黒川に思いを寄せる人材育成



黒川地区学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自治協議会 | <input type="checkbox"/> 学校長、保育園長 |
| <input type="checkbox"/> 社会教育委員 | <input type="checkbox"/> PTA会長OB組織 |
| <input type="checkbox"/> 公民館主事 | <input type="checkbox"/> 寿会代表(高齢者団体) |
| <input type="checkbox"/> 学校PTA、保育園保護者会長 | など、計 17 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 集落支援員 | 年間平均 3 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

「地域の子ども及び地域づくりの将来を考えた大切な提言ができる会議」と受け止め、委員や会議の在り方について見直しを図ってきた。特に充職に限らず地域や学校に熱意を持つ人を選任し、学校運営協議会とくろかわ地育リーダーズとの連携・協働をより明確に位置付けた運営をめざしてきた。委員として、地域組織の代表者や保護者の他、社会教育委員、公民館主事、集落支援員等の地域のパイプを持つ者や保育園関係者も参加し切れ目のない子育て支援を図っている。また、PTA会長OBが関わることで、これまでの学校や地域の取り組みを踏襲しつつ発展させる工夫をしている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

「これからの黒川地区の教育」について3つのグループに分かれて熟議を行ったところ、**①子どもたちの育成だけでなく地域人材の育成も必要であること ②子どもたちの思いを理解し、子どもたちが地域づくりに参画する必要があること ③黒川の強みを生かした教育を大切にしていこう**の3つが話し合われた。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

中学1年生に黒川地区で活躍する方の職業講話を行い、2年生では一人一人の将来の夢(職業)を体験できる事業所を黒川地区で探し紹介している。また、黒川で生きる魅力や夢の実現が可能なことを生徒に伝えるために、ネットワークを生かした人材活用や育成を行っている。



中学2年生職場体験の様子

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

学校運営協議会での3つの提言を受け、中学生職場体験では「生徒の思いや願いを叶えられる」「黒川で活躍する魅力を感じられる」「地域人材の育成に注力」の3点を共通理解している。くろかわ地育リーダーズでは地域ネットワークをフル活用し、生徒一人一人の思いや願いにマッチする事業所を探すことができ、これが黒川地区の強みと考えられる。地域企業等へは趣旨のほか、授業の狙いや3つの提言について説明し、地域住民(企業)と学校が目標を共有している。

取組

成果・効果

<これまでの成果>

| | |
|----|---|
| 生徒 | <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢に繋がる職場体験を行うことができた。 地域ならではの学びができる。(人との関わり方、コミュニケーション力) 黒川の良さが、子どもたちの心の根っこに伝わってきている。 |
| 学校 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所を確保していただくことは学校側の働き方改革につながった。 生徒のニーズ(夢)にあった職場体験を実施することができた。 ふるさと教育にもつながり大変役立っている。 |
| 地域 | <ul style="list-style-type: none"> 地域で地域の子どもの夢のお手伝いをするのができた。 生徒の職場体験が、地域の皆さんの活力や自己有用感につながっている。 地域全体で生徒を育成することに喜びを感じて参画する企業・住民が増えた。 |

◆これまでの学校だけで立案した職場体験では得られない地域資源を発見できた。
◆生徒が目指す(夢)職業につながる職場体験を行うことで、意欲的に活動を行い、地域への興味や愛着が強くなった。関わった地域住民も、学校や生徒たちへの関心が高まった。
◆職場体験の事業所探しを通して、地域は学校を、学校は地域をもっと知る必要があるという気づきがあった。